

データ削除

指定した日付以前の伝票データを削除します。

注意

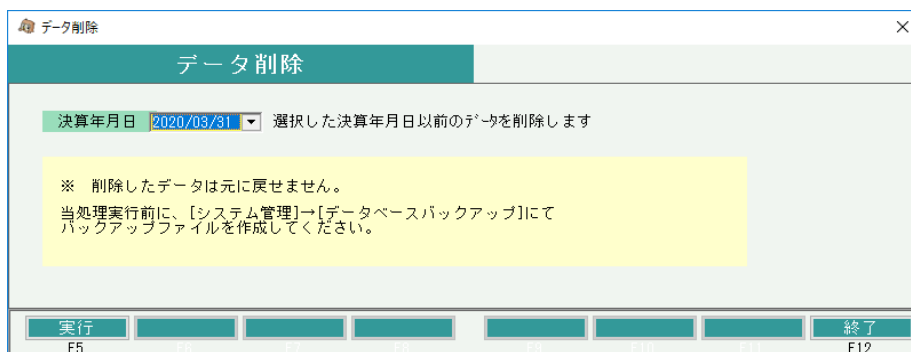
- 削除した伝票はもとに戻すことができません。
削除を実行する前に必ずバックアップを取得してください。
※ クラウド版をご契約の場合は、ふくろう販売管理メニューから直接バックアップを取得することができません。
アステム(株) 担当SEまでご連絡ください。
- 削除を実行する前に、各種残高(売掛残高・請求残高・買掛残高・支払残高・未払残高・在庫残高)を取得し、
削除実行後にそのデータと比較して、間違いがないことを確認してください。

1) データ手順手順

①システム管理メニューのデータ削除を起動します。

②決算年月日を選択します。

この日付以前の伝票データが全て削除されます。(伝票更新履歴データも削除されます)



Point

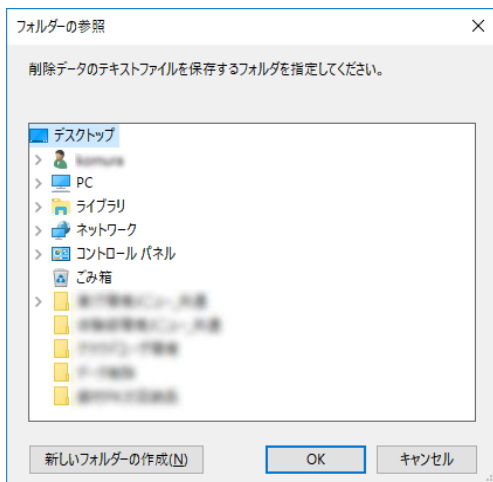
- 選択できる決算年月日は、現在日付から起算して3年より前の日付となります。

③実行ボタンを押すと、パスワード入力画面が表示されます。

パスワードはシステム管理者にご確認ください。



④削除対象の伝票はCSVファイルに出力されますので、保存先を選択します。



2) 削除する伝票

下記の条件に基づいて対象の伝票を削除します。

伝票	削除条件
見積	見積日が、選択した決算年月日以前の伝票。
受注	受注日が、選択した決算年月日以前の伝票。 ただし、データ削除実行後に残っている売上傳票にリレー済の受注伝票は、削除されません。
売上	運用設定画面の「在庫引落基準」の設定値が、 『伝票発行日』の場合は、売上日が、選択した決算年月日以前の伝票。 『配達(入荷日)』の場合は、出庫日が、選択した決算年月日以前の伝票。
入金	入金日が、選択した決算年月日以前の伝票。
発注	発注日が、選択した決算年月日以前の伝票。 ただし、データ削除実行後に残っている仕入伝票にリレー済の発注伝票は、削除されません。
仕入	運用設定画面の「在庫引落基準」の設定値が、 『伝票発行日』の場合は、仕入日が、選択した決算年月日以前の伝票。 『配達(入荷日)』の場合は、入荷日が、選択した決算年月日以前の伝票。
支払	支払日が、選択した決算年月日以前の伝票。
入出庫	入出庫日が、選択した決算年月日以前の伝票。
切断	伝票日付が、選択した決算年月日以前の伝票。
生産	「状況」の設定値が『未着手』の伝票は、伝票日付が選択した決算年月日以前の伝票。 「状況」の設定値が『生産中』の伝票は、開始日が選択した決算年月日以前の伝票。 「状況」の設定値が『完成』の伝票は、完成日が選択した決算年月日以前の伝票。

3) 開始残高

各種残高を新たに設定し直します。

- ・ **売掛/請求、買掛/支払/未払 残高**

得意先マスタ、仕入先マスタをもとに、選択した決算年月日直後の締日を算出し、算出された日付を「残高日付」その日付時点で計算した残高を「残高金額」として、請求先残高登録、支払先残高登録を上書きします。

- ・ **在庫残高**

選択した決算年月日時点の在庫を「開始残高」として登録します。
運用設定の「在庫開始日」は、選択した決算年月日で上書きされます。

Point

棚卸評価法が「最終仕入」の場合、選択した決算年月日時点で算出した「最終仕入単価」を商品マスタの「標準原価単価」に上書きします。
これは最終仕入単価を用いて在庫金額を計算する際、算出する日付時点までに仕入データが存在しない場合は、マスタの標準原価単価にて在庫金額が算出されるためです。